

第72回全国学校給食研究協議大会北海道実行委員会の設立について

近年、食を取り巻く社会環境が変化し、栄養摂取の偏りや朝食欠食といった食習慣の乱れ等に起因する肥満や生活習慣病、食物アレルギー等の健康課題が見られるほか、食品の安全性の確保や食料自給率の向上、食品ロスの削減等の食に関わる課題が顕在化している。

これらの課題に対応するためには、各学校において校長のリーダーシップの下、全教職員が連携・協力して、組織的に食育に取り組む体制の整備・充実を図るとともに、家庭・地域と連携・協働して、児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を発達段階に応じて総合的に身に付けることができるよう、学校の教育活動全体を通じて食に関する指導を行う必要がある。

また、学校給食は、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ、児童生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たしていることから、給食の時間はもとより各教科等の時間において、学校給食を「生きた教材」として活用が図られるよう、衛生・安全に十分配慮した食事内容の充実を図る必要がある。

全国学校給食研究協議大会を北海道において開催するに当たり、シンポジウム、分科会等を通じて、学校における食育を推進する上で重要な役割を果たす学校給食の在り方についての研究が深められ、次代を担う子どもたちへの食育の取組の一層の充実につながるものと期待している。

このため、関係機関及び団体等、多くの関係者に御支援、御協力をいただき、開催準備及び大会運営を万全に行い、大会の所期の目的を達成するため、「第72回全国学校給食研究協議大会北海道実行委員会」（以下「実行委員会」という。）を設立する。